

元号「令和」の考案者とされ本年2月に本市にお迎えする予定でした中西進先生（高志の国文学館館長）から、太宰府の誇りと勇気呼び起こしていただけるようなメッセージを頂戴しましたので、手書き原稿とともに紹介いたします。



広報

Dazaifu City PR Magazine

# だざいふ

## かぐわしき市民として

中西 進



太宰府は、古く万葉の昔から「遠の朝廷（みかど）」として、尊敬と憧れを集めてきました。

そこをお訪ねする計画は突然のウイルスの猛威のもとに延期となりました。

しかし、太宰府を想う気持ちは、わたしの中でいつそう強くなっています。

それは、遠く梅の香りをかぐように、といえはよいでしょうか。

今や太宰府市は、『万葉集』の中で大伴旅人や山上憶良が梅花の宴を催し、品格の高い優雅な作品を残した所だと、日本人の人が知るようになっていきました。

とくに、その折の文章から元号が採用されたことも、理由の一つでしょう。しかしそれだけではありません。万葉の梅にもとづいて、後に赴任した菅原道真も、都の梅に向かって香りを九州まで届けよと歌いました。

この歴史は、みごとな「遠の朝廷」ぶりです。その文化力は現在に引き継がれ、何物にも負けない日本人の心の力となっています。

太宰府市のみなさんは、この誇り高い心力のお手本になって頂きたいと思えます。

そもそも令和の令は自らを規律していく美しさを意味します。それこそ、梅の香りのように、かぐわしく美しい生き方でしょう。

2020  
(令和2年)

7

No.986

7月

福岡県同和問題

啓発強調月間です



この広報は6月17日時点での情報です。その後の状況変化が反映されていない場合がございますが、ご了承ください。

くすの記



6月議会では給与を三割カットし、新型コロナウイルス対策費用を捻出すべく市長車制度の廃止、議会費用削減など1億円超の歳出カットを断行致しました。

その一方で、小中学生一人一台のパソコン実現や医療機関支援、就職氷河期世代や大学生を対象とした雇用支援などの予算を新たに盛り込んでおります。

また、令和考案者とされる中西進先生、将棋の羽生善治さん、歌手の広瀬香美さん、地元タレントのゴリけんさんに直接依頼し、市民に向けての激励や注意喚起の言葉を頂きました。

今後とも前例にとらわれないうちのあらゆる手段を通じて市民の皆様への安心安全を守り抜くと共に、観光や経済のV字回復に向けても思い切った策を取って参ります。

太宰府市長

楠田 大蔵